

【授業科目】 産業看護学概論 Introduction to Occupational Health Nursing

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開	
後藤 由紀	2年次後期	必修	1	15	講義	あり	巻末掲載	可	
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	授業概要／働くことと健康に関して、看護職にとって必要不可欠な内容である産業保健・産業看護の理念、労働衛生関連法規、労働により生じる健康課題、および労働関連の健康影響についての理解を目指して教科書を使用しながら授業を行う。 課題に対するフィードバック方法／事前学習および授業からの質問については、公開にて回答する。 ＊実務経験を持つ教員が授業を進める。								
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「幅広い視野でヘルスケアシステムにおける看護の専門性ならびに関連する多職種の機能・役割を理解し、連携して地域社会に貢献することができる」の達成に寄与している。								
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	① 産業保健の目的および産業看護に関する基本的な知識を説明できる。 ② 労働が健康と密接にかかわっていることを学習し、労働と健康障害の関連を説明できる。 ③ さまざまな看護分野で働く看護専門職に必要とされる労働の視点を持つことができる。								
時間外学習 に必要な 内容・時間	①産業保健の目的および産業看護に関する基本的な知識を説明できる。 ②労働が健康と密接にかかわっていることを学習し、労働と健康障害の関連を説明できる。 ③さまざまな看護分野で働く看護専門職に必要とされる労働の視点を持つことができる。 第1～8回事前・事後学習：指定の教科書を読み、各単元についてまとめる（60分） 第6回事後学習：レポートにまとめる（120分） 第7回事前事後学習：テーマについて指定の教科書や参考書などで調べる（60分） 第8回事後学習：講義全体を振り返り、学びを深める。（120分） その他、講義で学んだことを振り返るための宿題やミニテストを課すことがある。								
授業計画	第1回 産業保健・産業看護の理念 ①産業保健とは ②産業看護の定義と役割 ③歴史 第2回 産業看護職の職務と産業保健の体制 3管理5分野と産業看護職の職務・産業保健のしくみ 多職種連携・地域職域連携 第3回 労働衛生関連法規（労働基準法、労働安全衛生法、労働契約法） 第4回 働くことと健康課題・その予防対策① 作業関連疾患、メンタルヘルスの現状と看護の役割 第5回 働くことと健康課題・その予防対策② 職業性疾病（特定化学物質、有機溶剤、電離放射線、粉じん、石綿、騒音、暑熱作業、 情報機器操作）の予防と看護の役割 第6回 働くことと健康課題・その予防対策③ 保健・医療・福祉分野で働く看護職の健康を考える（レポートあり） 第7回 産業保健・産業看護の魅力 第8回 これからの産業保健・産業看護の在り方 健康課題の多様化、小規模事業場の課題、健康経営/まとめ						全て後藤		
評価方法 評価基準	試験（80％）、レポート（10％）、授業態度（10％）で総合的に評価する。								
教科書	河野啓子著 産業看護学 2版 2024年 版 日本看護協会出版会. 2024	参考書等	労働衛生のしおり 令和5年度（中央労働災害防止協会） 産業保健マニュアル改訂7版（南山堂） 森晃爾他編 職場の健康がみえるメディアックメディア 2019						
学生への 助言等	図書館に上記に提示した参考書が揃えてあるので学習の参考にしてください。 産業看護の学びを深めるためには、労働者の健康問題はもとより、労働者の生活、労働の実態、産業社会、経済のしくみなどに幅広く目を向けることが大切です。新聞やテレビで取り上げられている社会経済問題、産業保健・産業安全に関するニュースに日ごろから関心を持つようにしてください。授業中の飲食・教室の出入り、携帯電話の使用は原則禁止します。								